

ちば里山新聞

(創刊号)

編集 発行 ちば里山センター
袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148
電話 0438-62-8895
題字 倉島 貴浩
(ワークホーム里山の仲間たち)

センター
会員募集中

ちば里山センター設立

既に団体等50会員を越す勢い!



大槻副知事と発起人の皆さん

05年 1/23 市原市市民会館で

加藤登紀子さん招きフォーラム

森の手入れや谷津田環境の改善、炭焼き、自然観察、環境学習、心身の健康づくりなどに取り組む18の市民団体等が連携し、去る9月17日県民・企業による自主的な里山活動の促進を目的とした組織「ちば里山センター」を、袖ヶ浦市長浦の県有施設内に設立しました。

これまでに、里山1日活動体験で、外国人留学生などと一緒に植樹を実施したほか、企業の社員ボランティアさんに森づくりを指導しました。また、来年の1月23日には市原市市民会館で、一般の方々にも広く参加を呼びかけ、加藤登紀子さんを招き、里山に関するフォーラムを開催します。(入場は無料です。)

坂本 彌 会長の挨拶



坂本会長

ここ数年、多くの里山活動団体が生まれ、それぞれ積極的に活動しています。ただ、少し欲張った見方かもしれませんが、まだ各団体の守備範囲はそう広いものではありません。

個々には点の活動であり、整備すべき対象の広さからみると、はなはだ細やかなものであると言わざるを得ません。

里山の整備や活用という問題を、ボランティア活動にどこまで期待するかということについては議論のあるところかと思いますが、やる以上はより大きな成果を期待したいし、継続する活動にしていかなければなりません。

そのためには、里山の整備・活用についての知識や技術の向上、指導者やその後継者の育成が必要です。また現状では、土地所有者の信頼や社会的な認知も充分とは言えないと思います。さらに、社会システムや政策面でも取り組むべき課題が少なくありませんが、それらに対する発言力も貧弱です。これらの問題に対して、個々の団体で対応するには限界があります。

多くの活動団体とネットワークを組み、さらに賛助していただける方々の力もお借りして、より大きな力にしようというのが、ちば里山センターの発想の原点だと思っています。

いまのところ、当センターの会員は50余りの団体や個人等です。県内にはその他にも多くの団体があり、優れた活動をしている団体も少なくありません。これらの団体を糾合して、より大きな力にしていくことを願っています。

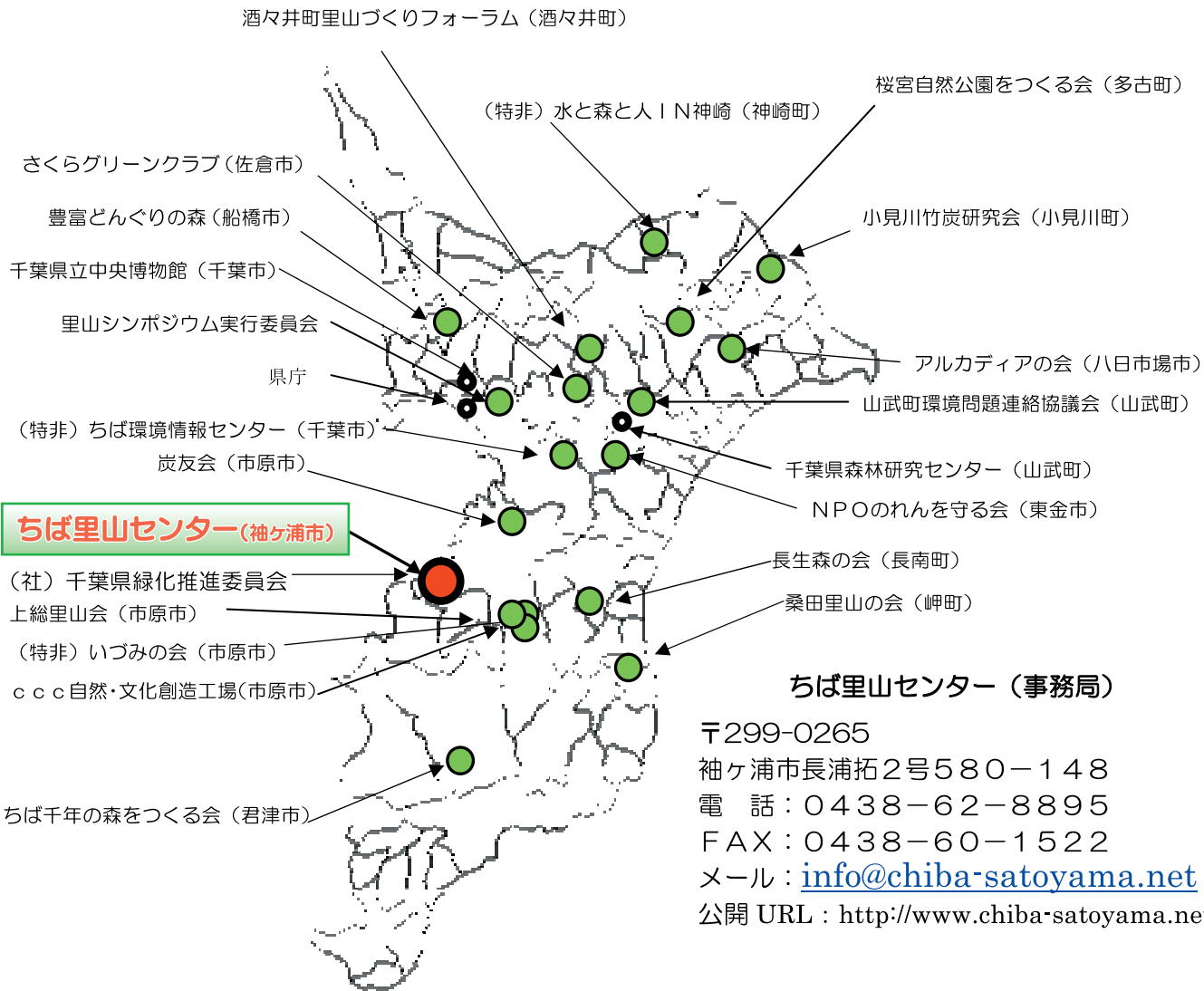
いま、里山という言葉の意味が変化しています。人によりいろんな捉え方があるようですが、ここでは里地から森林まで広く捉えたいと思っています。その意味での多くの里山活動団体、そして里山に関心を持つ多くの人々、それらの力を結集して、世界にも誇れる房総の里山環境の再生を図っていきたくと考えています。

〈ちば里山センターの役員の紹介〉

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| ◇会 長 坂本 彌 (ちば千年の森をつくる会) | ◇運営委員 藤倉 輝征 ((社)千葉県緑化推進委員会) |
| ◇副 会 長 金親 博榮 (里山シンポジウム実行委員会) | ◇ 同 広瀬 修二 (千葉県森林組合連合会) |
| ◇運営委員 鈴木 恵子 (豊富どんぐりの森) | ◇監 事 所 英亮 (桜宮自然公園をつくる会) |
| ◇ 同 高橋 明美 ((特非)山武町環境問題連絡協議会) | ◇ 同 浪川 茂夫 (アルカディアの会) |

ちば里山センターとその仲間たち

(発起人となった団体の主な活動場所、関係機関等)



ちば里山センター (事務局)

〒299-0265
 袖ヶ浦市長浦拓2号580-148
 電話：0438-62-8895
 FAX：0438-60-1522
 メール：info@chiba-satoyama.net
 公開 URL：<http://www.chiba-satoyama.net>

発起人の団体の主な活動目的 (◇は特定非営利活動法人)

団体名	事務局等所在	主な活動目的
炭友会	市原市	里山環境再生のため、樹木や竹林の手入れ、竹炭の製造。会員の親睦等
上総里山会	習志野市	里山の保全・整備・利用、会員の健康増進等
◇いづみの会	千葉市	環境の保全、職業能力の開発、雇用機会の支援活動及び環境保全活動
◇ちば環境情報センター	千葉市	環境保全、子どもの健全育成、まちづくりの推進、社会教育の推進等
◇ccc自然・文化創造工場関東事業部	群馬県前橋市	里山の森の再生・保全・管理・利用に関する計画立案、調査研究等
豊富どんぐりの森	船橋市	里山の保護・保全等に関する知識や技術の習得、調査、作業、啓発等
さくらグリーンクラブ	千葉市	ボランティア活動として行う健全な森林の育成等
酒々井里山づくりフォーラム	酒々井町	荒れた里山の再生・保全・育成及び里山の現状についての広報活動、
◇水と森と人 N神崎	神崎町	保健、医療又は福祉の増進、文化・芸術・環境保全、子どもの健全育成
桜宮自然公園をつくる会	多古町	自然環境の復元と保護を目的に桜宮自然公園をつくる。その啓発等
小見川竹炭研究会	小見川町	竹炭を生産し、竹林・森林の保護・再生。竹炭による水浄化・土壌改良、
アルカディアの会	八日市場市	森林等の整備に関する知識・技術の向上、整備作業及び必要な活動
NPOのれんを守る会	成東町	雑木の伐採・下刈、サンブスギを利用した青空木工教室の開催等
◇山武町環境問題連絡協議会	山武町	環境保全の監視パトロール、サンブスギの間伐材・倒木で環境浄化
長生森の会	茂原市	森林に関する知識・技術の向上、健全な森林を育成するための整備作業
桑田里山の会	岬町	雑木林の環境保全活動、里山資源の有効活用、環境保全団体との交流
ちば千年の森をつくる会	千葉市	君津市豊英島の植生調査、森林整備及び森林に親しむ行事等
里山シンポジウム実行委員会	千葉市	里山に関する課題等について広く意見交換、会員による実践活動等

平成16年度 ちば里山センターの主な活動内容

本年度は、団体を設立した初年度であることから、会員の募集、情報の収集等組織の基盤固めに重点を置き、里山活動団体間のネットワークの構築、里山に関する情報の発信等を行います。

また、里山活動団体間の情報の交換や共有、交流と併せて、広く県民の方々や企業の皆さんにも、里山及びその活動への関心や理解を深めていただくため、フォーラムの開催や里山1日活動体験などを実施するほか、活動の多様化や技術の向上を目指し、巡回による助言や指導、研修会の開催なども実施します。

1 里山フォーラム

番号	実施時期	テーマ	場 所	関係団体	備 考
1	1月23日 (日)	みんなの力で 未来に継承(つな)ぐ ちばの里山	市原市 市民会館	里山活動団体 農林業関係団体 千葉県、市町村 企業 など	知事と加藤登紀子さんとの対談 企業参加の里山づくり 里山活動事例 里山の市など 参加予定1500人

2 里山1日活動体験

番号	実施時期	企 画 概 要	場 所	協力活動団体	備 考
1	11月3日(祝)	秋の里山で植樹体験	千葉市若葉区	谷当グリーンクラブ	実施済み(外国人留学生など約130名が参加)
2	11月23日 (祝)	晩秋の里山散歩 で健康づくり	君津市豊英	ちば千年の森 をつくる会	・森林セラピー調査に協力のほか、自然観察 ・清和県民の森 森林研究センターと連携 定員30名
3	12月5日 (日)	初冬の里山で自然 観察とクラフト製作	千葉市緑区 下大和田	ちば環境情報 センター	・里山(谷津田、森、水路等)で生き物を探す。 ・どんぐりなどを使ったクラフトづくり 定員30名
4	2月5日 (土)	早春の里山で子供 のための体験教室	船橋市鈴身町	豊富 どんぐりの森	・ネイチャーゲームを通じて、 身近な里山の大切さを理解する。 定員30名
5	3月6日 (日)	春の里山で 森の古道散策	八日市場市 大寺	アルカディア の会	・今では、あまり使われなくなった里山の森の古道を 再生するボランティア体験 名所:飯高檜林など 定員100名

※上記活動体験は、事前申し込みが必要です。希望者は実施日の3日前までに里山センター事務局までにお申し込ください。

3 技術指導

(1) 団体

番号	実施時期	企 画 概 要	場 所	関係団体	備 考
1	10月23日	実践森の手入れ・下刈	成田市	富士ゼロックス(株)	企業の社員ボランティア及びその家族による下刈、農業体験
2	11月7日	賢い情報の発し方	多古町	桜宮自然公園をつくる会	地域のイベントを利用した賢い情報発信の方法
3	11月～2月	里山巡回相談	各 地	新たな協定認定団体	研究センター等と連携し、各地活動団体を巡回指導
4	1月21日	森の整備活用アドバイス	山武町	森林研究センター	公開講座「現場で役立つ森を活か知恵と技術」の総合版
5	2月中旬	プロに教わる	神崎町	水と森と人とIN神崎	刃物屋さんを招き、刃物に関する基本的知識の解説 及び研ぎ方について実技指導を受ける(誰でも参加可能)
6	3月上旬	ナタ、カマの研ぎ方	山武町	山武町環境問題連絡協議会	

(2) 初心者

番号	実施時期	企 画 概 要	場 所	関係団体	備 考
1	11月6日	入門森づくりの実践	千葉市若葉区	谷当グリーンクラブ	大地の社員ボランティアによる篠竹の刈払い作業
2	11月21日	里山の達人と森づくり	安房郡和田町	安房農林振興センター	鯨とともに歩んできた和田町で、長年森林組合で山の伐採作業などに従事してきた里山の達人 武山氏と広葉樹林の手入

(3) 指導者

番号	実施時期	企 画 概 要	場 所	関係団体	備 考
1	11月25日～26日	チェーンソーの安全研修	富津市	林業サービスセンター	法令に基づく研修。受講料は有料(会員割引あり)
2	2月下旬	救急への対処	袖ヶ浦市	ちば里山センター	消防署等と連携し、怪我などの対処方法を取得

4 里山新聞の発行

3回発行

5 ガイドブックの発行

6 ホームページの作成

7 ネットワークの構築・会員の募集

11月13日(竹文化振興協会研修に参加) 11月14日(環境シンポジウム千葉会議に参加) などイベントに参加

8 里山相談

会員、一般県民、企業等からの里山の保全、整備及び活用に関する相談



親子で参加した企業の社員ボランティアさん



皆で楽しく里山散策



世代を超えたふれあい

〈 最近の話題 〉

◆ 県森林研究センターの専門家による
里山巡回相談 好評 今後の活動がより楽しみに



巡回相談中

知事認定の協定を締結した団体を支援するため、(社)千葉県緑化推進委員会、県みどり推進課、県森林研究センターが連携し、6月下旬から9月下旬にかけて巡回相談を行いました。

同研究センターの小平哲夫環境機能研究室長が広葉樹

の森の手入れの仕方や、その際にできる木や竹の様々な利用方法などについて助言しました。

普段抱えている悩みや疑問を、直接専門家から答えてもらえる絶好の機会となり、今後の活動がより楽しみになったという声が多く聞かれました。

◆ 緑化推進委員会主催の公開講座
「現場で役立つ里山の森を活かす知恵と技術」



室内講義



野外実習

里山の森の手入れに関する指導書はあっても、実践となると、案外悩むものです。そんな方々のために、少しでもお役にたきたいと、左記の機関が共同し、9月から10月にかけて県森林研究センターで、実習を主体にした公開講座が開催されました。総勢59名が参加し、安全に関する講義、整備計画書作成など、森づくりに欠かせない知識や技術を学んだほか、最近話題の森林セラピーの心理テストにも協力しました。

森林研究センター：電話；0475—88—0505
〒289-1223 山武郡山武町埴谷 1887—1

〈 お知らせ 〉

◆ 知事認定の里山活動協定

里山条例に基づく、知事認定の里山活動協定制度があります。これは、土地所有者と利用する市民団体の双方が安心して活動に取り組めるよう設けられたものです。認定を受けると、技術支援や活動への助成が優先的に受けられます。

この件に関する問い合わせは下記に。

県みどり推進課緑化支援室

電話：043—223—3684

◆ 千葉県立中央博物館の催しもの

テーマ：「竹」なが ～ いともだち

○17年1月8日(土)～17年2月6日(日)

○展示構成 ・竹の自己紹介 ・長い竹とのつきあい
・美の中の竹 ・竹は今でもともだち

○入館料 一般500円 高大生250円 中学生以下

65歳以上無料 月曜及び月曜が休日の場合は翌日休館

○問合せ：直接、博物館へ 電話：043—265—3111

会員の募集

ちば里山センターからのお知らせ

歓迎します

◆ 会員になりたいという希望団体(者)が増えています

ちば里山センターは、県民の方々や企業等が主体となって運営される組織です。

会員は、里山に関心や理解があり、当センターの趣旨に賛同した方なら何方でもなれます。

会員に対しては、里山に関する情報の提供や、技術的支援などが優先的に行われます。

まだ、組織的に脆弱ですので、将来はNPO法人化を目指す当センターでは、会員になられた方には、当団体の運営や活動に関し、自主的かつ積極的にご協力をお願いします。

◆ 会員になるためには

会員の種類は、正会員と賛助会員の2種類です。会費は当面無料です。センターへの加入を希望される方には、申込用紙を送付(ホームページでも入手可能)します。

必要事項をご記入のうえ、郵送、FAX、メールにて事務局までお申込みください。

(参考)

正会員	里山活動を行う団体(里山の保全、整備及び活用に係る活動を積極的かつ主体的に行う特定非営利活動促進法に規定する特定非営利活動法人、その他営利を目的としない団体=任意団体でもよい)	総会における表決権あり。
賛助会員	個人、団体及び企業	総会において、議長の許可を得て発言可能。表決権なし